

## ◆今期間のポイント

## &lt;主要じょう乱の概要&gt;

- 4月2日は、低気圧が発達しながら日本の東へ進み、高気圧が九州の西に移動する。
- 3日は、高気圧が日本の東へ移動する。前線が華中から東シナ海へのび、前線上に低気圧が発生する。
- 4日から5日は、低気圧が日本海を北東に進み、前線が本州付近を通過して沖縄付近にのびる。
- 6日は、前線が東シナ海から日本の南にのびる。

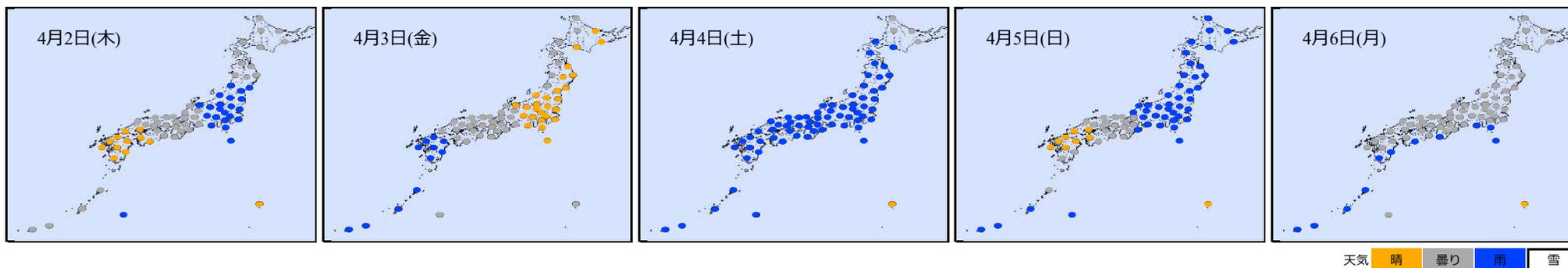
## &lt;防災事項&gt; 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 4月4日頃は、低気圧が発達しながら日本海へ進むため、西日本では大雨となる所があり、低気圧の発達によっては警報級の大雨となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

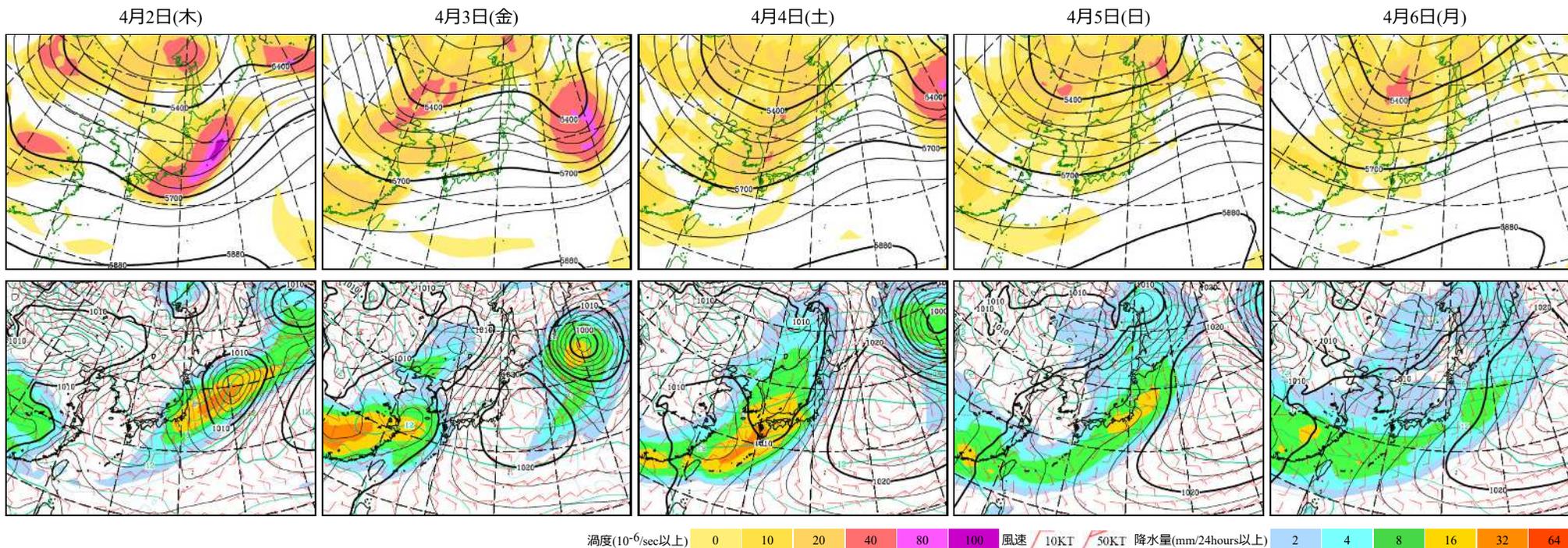
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

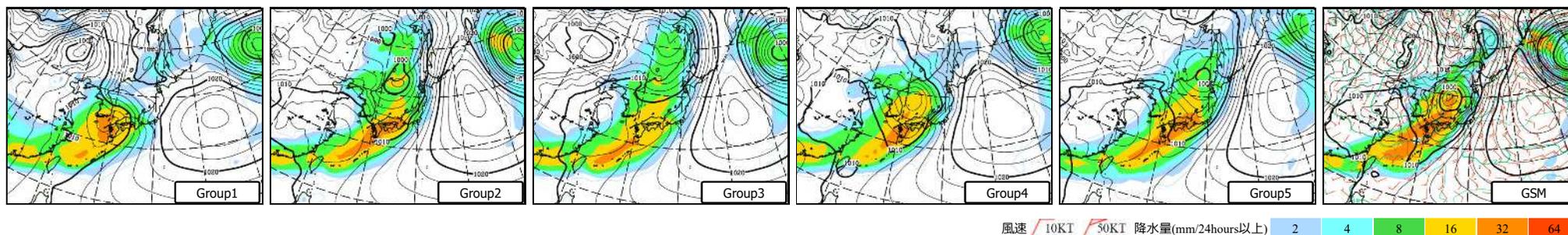


- 北日本と東日本は、曇りや雨の降る日が多いが、4月3日は晴れる所が多い。
- 西日本は、曇りや雨の降る日が多いが、2日と5日は晴れる所がある。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月4日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、4月2日から3日にかけて日本付近を東へ移動する高気圧が強まり、その後は日本の東で動きが遅くなった。5日に本州付近を通過する前線の進みが遅くなった。このため、5日は東日本を中心に降水確率ガイダンスの値が大きくなった。
- モデル間の差は3日までは小さいが、4日以降は日本付近を通過する低気圧の位置や勢力のばらつきが大きい。
- スプレッドは期間の後半は大きく、特定高度線のばらつきも大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。